

主張

若い世代の将来は闇、 成果主義賃金は年収300万時代へ

賃金とは生活費

賃金とは原則的に社会的平均的な、労働者の家族を含めた生活費ということができます。なぜなら、生活費に満たない賃金しか出さない会社には労働者が集まらず会社が成り立たないからです。

ですから、生活費が上がれば賃金は上昇し、生活費が下がれば賃金も下がります。昨今はデフレということで、確かに生活費が下がっています。

日用雑貨は大型安売り店で極めて安く手に入れることができますし、コンビニ弁当など300円でお昼を済ませたなどということもあります。

一方で、賃金は労働力の需要と供給に大きく規定されます。外国の安い労働力が国内に流入したり、生産拠点を海外に移したりするので、国内では多数の失業者がひしめき、賃金は大幅に下げられています。

育児・進学・マイホームは？

“新自由主義”という経営の側の思想が闊歩し、経営の側は経済のグローバル化による世界規模の競争に勝つため、日本の労働者の賃金を年収300万以下にしようとし、半ばそうになっています。今や日本の社会は崩壊に向かって突き進んでいるといえます。

では年収300万以下でどのような生活になるのでしょうか。若者は将来マイホームを持つなど夢のまた夢、なかには結婚もできなければ子供も持てない。よしんば子どもができたとしても大学へやるなどできない。NTTの今回の「見直し」提案では「昇給する仕組みを作る」と聞こえはよいが、一方で昇給しない仕組みであることも事実で

す。成果をあげなければ初任給から一切昇給がありえない場合もあり得るのです。また成果をあげ続けなければ賃金が上がらないのですから、これほど苦痛なことはありません。

こうして、「チームでよりよき仕事を」という職場の作風は失われ、自分の成果・業績だけにしか関心のない労働者が生み出されます。NTTによる生活破壊は目前に迫っています。

闘うN関労へ結集しよう！！

NTTはさらなる成果・業績主義賃金を導入し、「年収300万時代」の尖兵の役割を演じようとしています。NTTは「マイホームを持つ、子供を大学に」などということは「属人的要素」と言い切っているのです。

私たちは、このような成果主義賃金制度に反対し、労働者の生活と権利を守り闘う労働組合に結集し、闘う以外に人間らしく生きる道ははかにありません。

NTTのさらなる成果・業績主義賃金の導入が何をもたらすか学びつつ、反対して闘いましょう。

今号の紙面

- 1めん 主張 若い世代の将来は闇
成果主義賃金は年収300万時代へ
- 2めん 誓約書問題、会社回答出る
- 3めん 被害者の御霊に捧げる 107選
- 4めん 7・28集会案内
つづき徳昭さんの抱負

「誓約書」問題で会社回答出る

処分をちらつかせた、個人情報保護法関連の誓約書問題で、当労働組合はNTT西日本に対して要求書を提出していましたが、6月10日、会社

側より回答がありました。

この問題に対しては、法でいう「契約」がなぜ「誓約書」になるのか等、さらなる疑問の解明のため西本社、兵庫支店への質問書を提出し、団体交渉で追及する予定です。

組 合 要 求	会 社 回 答
<p>1. ガイドラインには「人的安全管理措置」において、「雇用及び契約時における非開示契約の締結」とあるが、それがどのような解釈で一方的義務を負う「誓約書」となるか説明すること。</p> <p>2. ガイドラインに明示されている「個人データ及び情報システムの安全管理に関する従業員の役割及び責任を定めた内部規定等についての周知」をどのように行ったか明らかにすること。</p> <p>3. ガイドラインに明示されている「個人データ及び情報システムの安全管理に関する従業員の役割及び責任についての教育・訓練の実施」をどのように行ったか明らかにすること。</p> <p>4. ガイドラインに明示されている「従業員に対する教育・訓練の実施が必要かつ適切に実施されていることの確認」をどのように行ったか明らかにすること。</p> <p>5. 誓約書を社員が提出しない場合の処分の根拠についての組合側の質問に対し、会社側は「社内規定」をあげているが、どの社内規定のどの部分であるのか、明らかにすること。</p> <p>6. 団体交渉において会社側は、企業年金見直しの同意徴収についてマーケティングアクト各社に業務委託していることを認めた。また「退職者の会」の役員が受給権者宅を訪問していることについて、「地域ビジネスアソシエが個人と契約している」と回答しているが、地域ビジネスアソシエ各社がどのような権限をもって退職者の会役員等と契約を結んでいるのか、また貴社は地域ビジネスアソシエ各社と受給権者訪問の契約を結んでいるのかどうか、明らかにすること。</p> <p>7. 退職者の会役員等の受給権者宅訪問に関し、「同意書1件に対し1万円の報酬が支払われている」との情報があるが、実際に報酬が支払われているとすれば、その資金の出所はどこなのか、明らかにすること。</p>	<p>1. 個人情報保護法の施行に伴い、会社は法令順守という社会的責任を果たすための取り組みとして、「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン(経済産業省)」を踏まえて、「法を守る」との社員の自戒も含めて「誓約書」の提出を定めたものであります。</p> <p>2. 個人データ及び情報システムの安全管理に関する従業員の役割及び責任を定めた内部規定等については、「情報セキュリティマネジメント規程」を制定し、各組織に周知をしております。</p> <p>3～4.</p> <p>会社は各組織において研修等を各組織の責任により実施しております。</p> <p>5. 社員就業規則第77条1項に基づくものであります。</p> <p>6～7.</p> <p>会社はマーケティングアクト社及びビジネスアソシエ社等にNTTグループ企業年金制度見直しに係る同意手続き業務を委託しているところであります。</p> <p>なお、委託等業務の運営については、会社の責任において実施するものであります。</p>

続

被害者の御霊に捧げる107選

前号につづき、JR尼崎事故に怒る「川柳愛好家」の「107選」のつづきをおとどけます。また、前号以降に作られた追伸、再追伸もあわせておとどけます。

- 67. 誰がした 過密ダイヤの 要求を
- 68. 競争が 過密ダイヤを 生み出した
- 69. 中央の 指令所発令 まず稼げ
- 70. 就職難 それでもヤメタ 棄権です
- 71. 107の 命の数で 国動く
- 72. 西・東 日勤教育 同じです
- 73. 新型を 付け終わるまで 走らさず
- 74. スピードを 守れば遅れる ダイヤかな
- 75. 時刻表 過密ダイヤで 地獄かな
- 76. 各遺族 連結し合っ 支え合う
- 77. 事故の後 地震の時を 思い出し
- 78. 戻らない 命の重さも 軽量化
- 79. 各車両 ベテラン知ってる 癖がある
- 80. 通勤圏 拡がりダイヤも 改正し
- 81. 遅れてる 1秒単位の 調査票
- 82. 裁量を 与えられて プレッシャー
- 83. もうやめて 遅れているの 連絡は
- 84. スピード化 事故の後には 迷走か
- 85. 同じです お詫びの言葉 労使とも
- 86. 罪と罰 労使で分け合う 記者会見
- 87. 運悪い それで済ますな 仲間だろ
- 88. 声明文 なぜ要求書が 出てこない
- 89. 要求は 見せしめ、虐め 止めること
- 90. 事故直後 会社の批判 今、労使
- 91. 闘いの ない職場での 大惨事
- 92. 労使とも 体質変えるの 声もある
- 93. 顔隠す 声を変えての インタビュー
- 94. 当局に 判れば怖い 組合員
- 95. 堂々と 批判している 人もいる
- 96. 乗客の 奪い合いで 命をも
- 97. 麻痺してる 裏技誰もと 労組員
- 98. 運転士 過密ダイヤで 曲芸師
- 99. 社長さん 訓示とフレンジ 合ってません
- 100. 焙り出す まず稼ぐこと 社の目標
- 101. 訓示した 社長言わない 自己批判

- 102. ダイヤより 高くついた 補償金
- 103. 人殺し 社長あなたが 言われてる
- 104. 体質と 性格急に 変わらない
- 105. 体質を 変えていこうよ 人として
- 106. 本当に 今変えないと 又惨事
- 107. 世の中が 秒単位と されている

追伸

悲しみを もう届けないで 天国へ
 イラクより ひどいじゃないの JR
 この惨事 JRだけの ものでない
 人間は 昼働いて 夜眠る
 仮眠では 集中力は 低下する
 日勤と 同じ様にと 仮眠後も
 北近畿 補償問題 乗せたまま
 省線が 民活ねらい 今商戦
 動く国 省も責任 迂回する

再追伸

見飽きたよ 頭を垂れる あの姿
 ポイントを 切替える時 労組さん
 定年まで 日勤教育 受けてやる
 尼崎 信楽・神戸 連結し
 次期社長 経営資源 誰のこと
 速度より ダイヤ守れの 教育か
 順法の 闘いあったと 思い出し
 慰霊碑に 刻み込まれた くの字かな
 責任が 環状線を 走ってる
 献花台 マスコミ記者の 餌場かな
 107と 1047の 人柱
 誓います もう二度とが 何回目
 首切つて ポイント切り替え 大惨事
 僕達も ポイント切り替え 闘いを
 闘魂を 1047が 繋いでる
 100年の 昔も今も 人運ぶ
 証拠品 切ったレールを 文鎮に
 20年 逆登って 原因を
 そうなんや 会長・社長 責任者
 責任者 同じ体質 入れ替わる

(川柳愛好家)

JR宝塚線事故は警告する!!

7.28 尼崎集会

4月25日、信じられない大事故がJR宝塚線の尼崎駅近くで発生しました。死亡107名、負傷者は549名と報道されています。

事故の科学的解明は、国土交通省の事故調査委員会の報告を待つしかありません。しかし私たちは現場で働くものの視点、そして乗客の視点からこの大事故を検証しなければならないと思います。

このJR宝塚線事故に相前後して、航空機をはじめ運輸関連の事故が続発しています。

なぜ、いつの間にこんな社会になったのでしょうか。

政府がこの間推し進めてきた民営化、競争促進は今回の事故と無関係でしょうか？

気鋭の評論家佐高信さんをお招きし、国鉄の分割・民営化以来、「民営化」がもたらしてきた実態を検証します。人間を壊死させるほど企業の利益が追求される競争社会に対する警告を、現地尼崎から発信します。

日時 7月28日(木)PM6:30~

場所 尼崎市立労働福祉会館大ホール

講演 佐高 信(さたか まこと)



1945生まれ、評論家。
主な著書:「逆名利君」(現代文庫)
「政財界メック切り 佐高信の政経外科」(毎日新聞社)、誰が日本経済を腐らせたか」(角川文庫共著)

報告

- ・JR事故調査報告(実行委員会より)
- ・JR職場の実態(JR西日本労働者)

訴え 鉄建公団訴訟原告団

参加費 500円

主催 7・28集会実行委員会

開かれた議会・見える議会へ、

働くものの権利や地位の向上へ!



尼崎市議会議員 つづき 徳昭

N関労の仲間の皆さんの力強いご推薦有難うございました。

6月5日から日付も変わった頃、選対事務局から大丈夫と言われても、当選の実感が沸きませんでした。集まった支援者の皆さんに御礼を言いながら自分に言い聞かせていました。翌朝新聞を見て45議席中43位2451票を確認してもその気持ちはあまり変わりませんでした。

当選が実感できたのは支援者の人たちのが、わが事のように喜んでいただいた顔を見て実感です。また、これまで34年間働いてきた職場を挨拶回りした時、みんな喜んでくれた。職場によってはみんな集まってくれて万歳三唱をしてくれたり。「オー先生がきた」「組合選挙ではダメやったが今度はいけたな」等々、連合系の組合の中で、これまで出向や配転反対闘争等々、安心して楽しく働ける職場づくりに不十分ながらも取り組んできました。その間、少数派で悔しい思いもしたことがたくさんあった。しかし、みんなのわが事のように喜んでくれる顔にそんなことは飛んでしまった。本当に嬉しかった。当選の喜びが沸いてきました。

さて、今回の選挙結果を一言で言わしていただければ「政治不信」です。投票率が戦後最低、20才台の若い3人がいきなり出て高い得票で当選、現職の3人が落選とそのことをあらわしている様に思います。これからが仕事です。働くものの権利や地位の向上に頑張ります。これからもよろしくお願いします。